

4 地域支援センター事業

地域における高齢者・障害者等に対して、適切なリハビリテーションサービスの円滑な提供に向け、関係機関の連携方策や全県的な立場で地域を支援する「神奈川県リハビリテーション支援センター」として、地域におけるリハビリテーションの体制の充実を図るための業務を行っている。

平成22年度、地域リハビリテーション支援業務を行うとともに、「高次脳機能障害支援普及事業」の支援拠点機関として、地域の相談体制の整備や研修に取り組んだ。

(1) 県リハビリテーション支援センター事業

ア リハビリテーション情報の提供

県内のリハビリテーション関係機関等に関する情報を、地域支援センターホームページに掲載し、情報の提供を行っている。

また、地域支援センターで行っている事業の情報発信を目的に「地域支援センターだより」を、リハビリテーション専門研修会の開催情報とあわせてホームページに掲載し、利用者に必要な情報の提供に努めた。

イ リハビリテーション専門相談

リハビリテーション専門相談は、リハビリテーションを必要とする高齢者・障害者が住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう支援センターの専門スタッフがリハビリテーションの立場から市町村及びリハビリテーション関係機関等と協働して総合相談・情報提供・技術支援などの支援活動を実施するものである。平成22年度の相談件数は431件で内容は次のとおりである。

表1 相談依頼元の相談件数

区分	件数	構成比
市町村	142	32.9%
本人・家族	36	8.4%
居宅介護支援事業所	52	12.1%
医療機関(外来含)	30	7.0%
地域包括	32	7.4%
障害者相談支援事業所	48	11.1%
訪問看護ステーション	17	3.9%
保健福祉事務所	21	4.9%
障害者施設	16	3.7%
高齢者施設	4	0.9%
その他	33	7.7%
合計	431	100.0%

表2 保健福祉圏域別の相談件数

区分	件数	構成比
横浜	4	0.9%
川崎	2	0.5%
相模原	16	3.7%
横須賀・三浦	9	2.1%
県央	191	44.3%
湘南東部	48	11.1%
湘南西部	55	12.8%
県西	92	21.3%
県外	14	3.3%
合計	431	100.0%

表3 障害別の相談件数(重複)

区分	件数	構成比
神経・筋疾患(特定疾患)	160	30.5%
小児疾患(脳損傷)	82	15.7%
脊髄障害	84	16.0%
脳血管障害	57	10.9%
骨関節	52	9.9%
成人外傷性脳損傷	9	1.7%
その他(切断、糖尿病等)	80	15.3%
合計	524	100.0%

表4 相談内容別の相談件数(重複)

区分	件数	構成比
補装具・福祉機器	178	39.6%
機能評価	121	27.0%
住宅改修	37	8.2%
家族支援	27	6.0%
看護・介護方法	24	5.4%
リハ訓練	23	5.1%
就労・教育等	5	1.1%
その他	34	7.6%
合計	449	100.0%

ウ リハビリテーション研修事業

地域でリハビリテーションサービスに携わる理学療法士、作業療法士、言語療法士、保健師、看護師、ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、介護職員、福祉施設支援員などの専門職員に対し、リハビリテーションに関する技術的指導や援助方法等の研修を次のとおり実施した。

○リハビリテーション研修事業の実施状況

No.	区 分	開催日	定員	受講者数	延数	評価/5点
1	脳卒中のリハビリテーション	5/14.15	30	35	68	4.3
2	摂食・嚥下障害のリハビリテーション	6/5	50	83	83	4.3
3	OT研修「ハンドリング入門」	6/26	40	66	66	4.9
4	機能訓練指導員研修	7/9.10	40	47	92	4.3
5	知的障害のリハビリテーション	8/18.19	20	25	47	4.5
6	高次脳機能障害セミナー(理解編)	8/28	200	248	248	4.3
7	住宅改造・改修セミナー	9/10.11	40	42	81	4.5
8	ケアマネジャー支援研修Ⅰ	9/16	30	80	80	4.0
9	脊髄損傷のリハビリテーション(実務編)	9/25	40	30	30	4.5
10	脊髄損傷のリハビリテーション(理解編)	9/28	30	21	21	4.6
11	車いすシーティングの理論と実際	10/2	50	48	48	4.8
12	PT・OT研修(第1回～5回)	10/16他4日	30	21	91	4.8
13	ケアマネジャー支援研修Ⅱ	10/29	60	32	32	4.4
14	じょくそう予防セミナー	11/2	50	61	61	4.2
15	地域リハコーディネータ養成研修1	11/10	40	73	73	4.7
16	PT研修「臨床に役立つ動作分析入門」	11/13	60	45	45	4.3
17	高齢者・障害者の排泄	11/18	50	78	78	4.3
18	地域リハコーディネータ養成研修2	12/4	40	34	34	4.3
19	高次脳機能障害(実務編1)	12/11	50	87	87	4.3
20	高次脳機能障害in江ノ島	12/19	80	68	68	4.3
21	高次脳機能障害セミナー(実務編2・小児)	1/15	50	77	77	4.4
22	身体障害者の就労支援	1/29	40	42	42	4.7
23	リーダー研修	2/10	20	15	15	4.5
24	補装具専門研修	2/15	50	29	29	4.4
25	かながわ地域リハビリテーションフォーラム	2/20	200	119	119	4.2
26	高次脳機能セミナー就労支援	3/5	50	45	45	4.5
合計		延34日	1,390人	1,551人	1,760人	4.4点

エ 「かながわ地域リハビリテーション・フォーラム」の開催

第7回：平成23年2月20日開催 場所：神奈川県総合医療会館 参加人員153人

区 分	内 容
1 特別講演	座長：伊藤 利之（横浜市総合リハビリテーションセンター顧問） (1) 講師：臼井 正樹（神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部教授） 「障害者の自立を支援するために」 (2) 講師：長谷川 幹（成城リハビリテーションクリニック 医師） 「要介護高齢者を地域で支えるネットワーク」
2 シンポジウム	テーマ：「神奈川県のリハビリテーションを推進する」 座 長：大橋 正洋（神奈川県リハビリテーション支援センター所長） シンポジスト：(1) 理学療法士会の活動と提言 秋田 裕（神奈川県理学療法士会 会長） (2) 作業療法士会の活動と提言 渡邊 慎一（神奈川県作業療法士会 会長） (3) ケアマネジャー協会からの提言 阿部 充宏（神奈川県介護支援専門員協会 理事長） (4) 訪問看護師からの提言 乙坂 佳代（神奈川県訪問看護ステーション連絡協議会 会長）

オ 地域リハビリテーション推進モデル事業

特定の市町村をモデル地域として、リハビリテーション人材の育成と地域連携システムの構築を図るもので、平成21年度から22年度までは綾瀬市において実施した。22年度は介護技術研修会と事例検討会2回を実施し、定期訪問によるリハビリテーション専門会議を市役所

において毎月1回実施した。2年間の事業実施により綾瀬市における専門相談の訪問件数は開始前の2件から33件と増加した。この事業は、「神奈川力」まるごと活用事業の位置づけで、病院事業課との協働・連携で行なった。

(2) 高次脳機能障害支援普及事業

障害者自立支援法に基づく高次脳機能障害者の支援拠点機関として高次脳機能障害支援普及事業を行っている。

ア 神奈川県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会

高次脳機能障害者に関する地域支援ネットワークの充実を図るため、神奈川県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会を開催した。

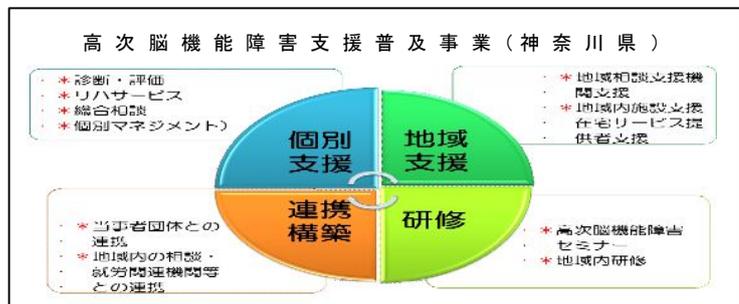
- 日時：平成23年2月4日（金） 15:00～17:00 場所：崎陽軒本店

（委員会の構成員）

区分	所属
学識経験者	神奈川県保健福祉大学 保健福祉学部社会福祉学科
県の機関	保健福祉局企画調整部病院事業課、福祉・次世代育成部障害福祉課、精神保健福祉センター、総合療育相談センター
国の機関	障害者職業センター
横浜市	横浜市総合リハビリテーションセンター
川崎市	川崎市北部リハビリテーションセンター
当事者団体	障害福祉課
相模原市	NPO 法人脳外傷友の会ナナ
職能団体	OT協会代表、医療社会事業協会、ケースカー連絡協議会
サービス提供事業所	愛名やまゆり園、藤沢障害者生活支援センター、精神障害者生活支援団体連合会
リハセンター	地域支援センター所長ほか2名
計	19名

イ 拠点機関の支援内容の概要

地域支援センターでは、高次脳機能障害相談支援コーディネーターを2名配置し、個別支援、地域支援、研修、地域連携を柱とした事業を実施している。



(ア) 個別支援の状況

表1 相談依頼元の相談件数

区分	件数	構成比
家族・本人	207	65.5%
医療機関(当院・その他)	40	12.7%
地域相談窓口	36	11.4%
介護保険関係機関	14	4.4%
市町村	12	3.8%
その他	7	2.2%
合計	316	100.0%

表3 障害別の相談件数（重複）

区分	件数	構成比
成人外傷性脳損傷	124	39.2%
脳卒中	113	35.8%
小児脳損傷	21	6.6%
不明	11	3.5%
その他	47	14.9%
合計	316	100.0%

表2 相談内容別の相談件数（重複）

区分	件数	構成比
就労・教育	644	18.8%
その他の経済・制度面	563	16.4%
福祉サービス・社会資源	575	16.8%
生活課題	548	16.0%
リハ訓練	379	11.1%
医療	396	11.5%
家族支援	199	5.8%
医療機関紹介	24	0.7%
看護・介護方法	17	0.5%
補装具	7	0.2%
住宅改修	1	0.0%
その他	75	2.2%
合計	3,428	100.0%

(イ) 研修会の開催

研修名	対象者	開催日	開催場所
高次脳機能障害セミナー (理解編)	限定無し	8月28日(土)	神奈川県総合医療会館
高次脳機能障害セミナー (実務編・一般)	医療・福祉・職業・行政等の分野で 障害福祉にかかわっている者及び当 事者家族	12月11日(土)	海老名市商工会館
高次脳機能障害セミナー (実務編・小児)	医療・福祉・職業・行政等の分野で 障害福祉にかかわっている者及び当 事者家族	1月15日(土)	ウイリング横浜
高次脳機能障害セミナー (就労支援編)	MSW, P SW, 相談支援従事者、 ハローワーク等の職員	3月5日(土)	ウイリング横浜

(ウ) 連携構築

a 政令指定都市との連携

政令指定都市在住者への支援が多いことなど政令指定都市内の中心的機関との連携支援の必要性が高い状況にある。そのため、横浜市総合リハビリテーションセンター、川崎市北部リハビリテーションセンター、れいんぼう川崎及び相模原市障害福祉課と定期的な情報交換会を実施した。

開催日	開催場所	参加機関
6月18日(金)	横浜市総合リハビリテーションセンター	<ul style="list-style-type: none"> 横浜市総合リハビリテーションセンター (SW) 川崎市北部リハビリテーションセンター (SW 保健師) れいんぼう川崎 (SW) 相模原市障害福祉課 神奈川県総合リハビリテーションセンター (コーディネータ、職業指導員)
11月19日(金)	川崎市北部リハビリテーションセンター	

b 自立支援協議会との連携

高次脳機能障害者支援の広域的・専門的相談支援機関として圏域事業調整会議および保健福祉圏域自立支援協議会へ参加している。

○ 障害保健福祉圏域事業調整会議

日時	場所
4月20日(火)	厚木市総合福祉センター
6月23日(水)	大和市生涯学習センター
8月6日(金)	秦野市保健福祉センター
10月8日(金)	藤沢市保健所
12月10日(金)	逗子文化プラザ
2月10日(木)	小田原合同庁舎

○ 障害保健福祉圏域・市町村自立支援協議会

日時	場所
6月25日(金)	横須賀・三浦圏域自立支援協議会
6月30日(水)	県央圏域自立支援協議会
7月14日(水)	湘南西部圏域自立支援協議会
7月7日(木)	湘南東部圏域自立支援協議会
7月27日(火)	県西圏域自立支援協議会
10月20日(水)	湘南西部圏域自立支援協議会
10月26日(火)	横須賀・三浦圏域自立支援協議会
1月18日(火)	県央圏域自立支援協議会
2月14日(月)	湘南西部圏域自立支援協議会
2月16日(水)	湘南東部圏域自立支援協議会

c 当事者団体との連携

当事者団体との連携は、NPO法人脳外傷友の会「ナナ」の協力を得て神奈川リハビリテーション病院内の協働事業室にて入院・外来利用者などを対象にピアサポート支援や本人の活動支援を行い、必要に応じて地域支援センターと連携した研修や個別支援を行っている。

協働事業室利用者数	相談件数	本人活動支援
1,592	128	473

(3) 神奈川県高次脳機能障害地域支援事業

神奈川県では、長期的展望のもと、国の構想である県一カ所の支援拠点だけでなく、県内のそれぞれの地域で、高次脳機能障害について理解し、生活の場で支援を行える人材や拠点作りが必要と判断し、従来行っていた高次脳機能障害者支援のための県単独事業を、平成22年度より強化し、1. 地域ネットワーク作り事業、2. 巡回相談事業、3. コンサルテーション事業を開始しました。

ア 地域ネットワーク作り事業

(ア) 高次脳機能障害支援システム検討委員会

平成 22 年 9 月 3 日 14:00～16:00 茅ヶ崎市文化会館

(委員会の構成員)

区 分	所 属
学識経験者	鎌倉女子大学 鎌倉女子大学短期大学部
医師	茅ヶ崎徳州会総合病院
医療機関	茅ヶ崎徳州会総合病院
当事者団体	脳外傷友の会 ナナ
教育機関	藤沢養護学校
就労支援機関	湘南地域就労援助センター
サービス提供事業所	サービスセンターばる
	地域生活支援センター「元町の家」
	生活相談室「すまいる」
	藤沢市地域生活支援センター「おあしす」
地域自治体	茅ヶ崎市障害福祉課
	寒川町障害福祉課
	藤沢市障害福祉課
	藤沢市保健所 保健予防課
	茅ヶ崎保健福祉事務所保健福祉課
神奈川県	神奈川県保健福祉局 福祉・次世代育成部 障害福祉課調整グループ
	神奈川県保健福祉局 企画調整部 病院事業課
	神奈川県リハビリテーション支援センター
リハセンター	神奈川県リハビリテーション支援センター

※ 平成 23 年 3 月 22 日 14:00～16:00 茅ヶ崎保健福祉事務所 (東日本大震災により延期)

(イ) 湘南東部地区高次脳機能障害講習会

日 時 : 平成 22 年 12 月 19 日 10:00～16:30

場 所 : かながわ女性センター

参加者 : 68 名

講 師 :

高次脳機能障害の医学的理解 : 亀井 徹正 (茅ヶ崎徳州会病院 院長)

高次脳機能障害の相談支援 : 瀧澤 学 (神奈川リハ病院 医療福祉総合相談室)

高次脳機能障害の地域支援 : 野々垣睦美 (すてっぷなな 所長)

高次脳機能障害の就労支援 : 矢代美砂子 (神奈川県障害者職業センター

主任カウンセラー)

地域での支援事例について : 鎌田 実 (光友会 藤沢生活支援センター)

(ウ) 支援の実態調査

a 湘南東部地区

藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町

調査用紙配布数：障害福祉サービス事業所 89 事業所（120 事業）

回収数：56 事業所（78 事業） 回収率：65.0%（65.2%）

調査期間：平成 22 年 6 月 7 日～6 月 18 日

b 湘南西部地区

平塚市、秦野市、伊勢原市、二宮町、大磯町

調査用紙配布数：障害福祉サービス事業所 121 事業所（事業数 178 事業）

回収数：83 事業所（136 事業） 回収率：68.6%（76.4%）

調査期間：平成 22 年 9 月 24 日～10 月 8 日

イ 巡回相談事業

(ア) 横須賀・三浦障害保健福祉圏域（久里浜障害者支援センター 平成 22 年 5 月開始）

(イ) 湘南東部障害保健福祉圏域（サービスセンターぱる 平成 22 年 11 月開始）

表 1 対応状況別の相談件数

区 分	横須賀・三浦地区	湘南東部地区
電話	7	1
面談	17	3
カンファレンス	4	0
家庭訪問	8	0
調整中	0	3
合 計	22	7

表 2 相談依頼元別の相談件数

区 分	横須賀・三浦地区	湘南東部地区
本人	4	0
家族	3	2
訪問先事業所	7	0
病院	2	0
地域内福祉サービス事業者	2	0
ハローワーク	0	3
市町村	2	0
継続支援	2	2
合 計	22	7

ウ 関係機関等コンサルテーション事業

(ア) 施設、行政機関、民間団体等の要請に応じて、神奈川県リハスタッフを派遣し、地域での困難事例の対応等、専門的な支援の実施を行った。

対応件数 14 件

(イ) 高次脳機能障害研究会の開催

第 1 回 平成 22 年 9 月 24 日（金）18 時から 21 時（海老名市文化会館）

制度理解：自動車保険について

事例検討会：医療機関からの相談

第 2 回 平成 22 年 12 月 17 日（金）18 時から 21 時（海老名市文化会館）

制度理解：労災について

事例検討会：地域相談支援事業所から発症後の生活構築、就労支援についての相談

第 3 回 平成 23 年 3 月 4 日（金）18 時から 20 時（プロミティ厚木）

制度理解：障害者手帳、障害年金

事例検討会：地域相談支援事業所から、回復期/病院退院後の生活の組立についての相談

(ウ) 参加者

県央地区：サービスセンター花音、湘南東部地区：サービスセンターぱる、

湘南西部地区：ほっとステーション・NPO はたの、県西部地区：やすらぎ、

横須賀・三浦地区：ゆんるり